

神奈川代協県西支部は11月26日、平塚市の平塚商工会議所で代協説明会を開いた。会場では、県西支部が実施した小田原市へのチャイルドシートの寄贈や地域の催事でのブース出展のようすなど、各種地域貢献活動の概要を紹介。このほか、代理店賠償「日本代協新プラン」や損害保険大

員長の関野俊和氏は「代理店にとって大事なことは、代理店賠償に加入して、自社とお客様を守る」と話した。会員の安藤広氏は国民年金基金の概要を紹介。制

非会員へ活動内容を紹介

加盟呼びかける

神奈川代協県西支部



横田支部会長



講演する雨宮氏

度の特徴として掛金の全額が社会保険料控除の対象となることや加入時に将来受け取る年金額が確定することなどを挙げ、加入を促した。県西支部の地域貢献活動について紹介した同支部会長の横田裕氏は「各種取り組みに参加いただき、代協会員であるメリットを感じてもらいたい」と述べ、当日参加した非会員代理店に加盟を呼びかけた。

なお、同支部は西湘支部と平塚支部が今春に合併してできた支部。会員50名で発足し、現在の会員数は56名となっている。

説明会のあとはセミナーを開き、神奈川代協専務理事の雨宮豊氏が「生保販売の組織体制について」をテーマに講演した。